

「地を離れ いま飛翔へと 初日の出」(城南桜を満開に)

校長 赤木 完治

【明けまして おめでとうございます】

「城南魂・城南桜」の新しい年がスタートしました。創立70周年に始まった本年度、本校の教育活動に際し、多大



なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。皆様方には、平成29年の新春を、お健やかな気持ちで迎えられたことを拝察し、心からお慶び申し上げます。今回の題字は、俳人「村田 哲也氏」の作品で、城南の校章でもある白鶴をテーマにした新年の句にぴったり(!?)まるで、城南の子どもたちが翼をいっぱい広げ、初日の出に向かって飛び立ちようとしているようです。この句は、本校の子どもたちの明るい未来を表現しているようで、城南着任以来、私の大好きな俳句の一つ。今年も、「城南魂で城南桜を満開にする」学校づくりを目指します。

【1年の計は元旦にあり!】

「一日の計は朝にあり、1年の計は春にあり、一生の計は少壮(若くて意気盛ん)の時にあり」という名言があります。出典は宮崎県出身の学者である安井息軒(1799~1876)氏が、自分の門下生(弟子)たちに対して、「何事もはじめが大切である」という考え方をもとにして、『今日という日は二度と戻らない。だから一日一日を大切に、しっかり勉強しなさい!』という教え【三計の教え】と訓えました。このことから、年頭に当たって、『一年の計は元旦にあり』とあって、新たな目標をもち、着実に実践していくことの大切さを表したといわれています。自分の目標を達成できるのは、自分しかいません。他人の力に安易に頼ったり、逃げたりすることなく、自分を信じて真正面から対応して行ってください。

【どの学年も頑張れ!心から期待します】

城南中の誇りは、「素直でやさしい真面目な子どもたち」です。その子どもたちの本年度の学年活動は、いつもにもましてアクティブで素晴らしいものになります。準備段階での各学年・個々の生徒の頑張りには、目を見張るばかりです。今年も、全学年大いに期待しています。

- ① **1年生**…緊密な小中連携の成果か、入学当時から頑張ってくれました。今では、すっかり城南の顔。城南中の伝統を、スムーズに引き継ぎ、いよいよ1年最大の行事「スキー教室」へ出発。「雪国を城南桜で満開に」してきてください。心から、期待しています。
- ② **2年生**…中堅としての自覚と頑張りが見えてきました。本当に、よく頑張ってきています。特にミラクルワークは素晴らしかった。4月からは、最上級生。城南を、お願いします。校外学習(東京方面)も誇らしい行動で!
- ③ **3年生**…2回の校長面接では、一人ひとりが自分の進路を見つめ、頑張っている様子が伺えました。さすが、城南の3年生は一味違う。さあ、いよいよ進路決定です。皆さんの未来が、夢あるものとなるよう最大限努力の姿を見せてください。期待しています。「いつ見せるの?」・『今でしょ!!』

【日頃より皆様方の学校へのご理解・ご協力に感謝】

1・2学期から実施しております「心のアンケート調査」をはじめ「体罰・不適切な言動等に関する調査」「いじめアンケート調査」等へのご協力、誠にありがとうございました。今回、不適切教員等については、該当がありませんでした。しかし、本校といたしましては、生徒個々への対応の充実を進めつつ、PTAはじめ地域のご理解・ご協力をいただきながら、一層の「信頼ある開かれた学校づくり」を、全教職員で推進する所存です。

今後とも、本校の教育活動に際し、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。